

長谷川潔から
岩田榮吉へ

静寂の形象

かたち



長谷川潔《小鳥と二つの枯葉》1964年 マニエール・ノワール



岩田榮吉《人形と鳥》1970年 油彩・キャンバス

2020 4.18 (土) ~ 7.20 (月)

【開館時間】 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】 毎週火曜日

【観覧料】 500円 (保護者同伴の中学生以下1名無料)

横浜本牧絵画館
Yokohama Honmoku Gallery

〒 231-0822
神奈川県横浜市中区本牧元町40-7
TEL: 045-629-1150 FAX: 045-629-1151

公式 HP: www.yh-g.org
関連 HP: www.iwata-museum.org

静寂の形象（かたち）について

横浜本牧絵画館のメインコレクション作家岩田榮吉は、生涯にわたり銅版画家・長谷川潔に私淑しました。長谷川は古い銅版画の技法である「マニエール・ノワール（メゾチント）」をわがものとして復活させ、とくにその世界観を反映した静物画で知られます。厳しい選択を経たモチーフ、様々な意味を与えられたオブジェ、伝統を踏まえ考えぬかれた構図、そして何より岩田が敬愛したのは、長谷川作品に見られる「静けさ」とそこから垣間見える高潔な芸術家の生き方でした。この静けさはただ無音の状態というばかりではなく、また穏やかな湿り気を帯びているでもない、といって重苦しい沈黙でもない、凍りついた静寂に満ちたまさに「静寂」の世界なのです。



岩田榮吉《プラターニユの農家》1965～69年 ドライポイント

横浜本牧絵画館

Yokohama Konmoku Gallery



当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のため、具象絵画を中心とする私設美術館です。

岩田榮吉（1929-1982）



当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油画科を首席で卒業し、その後生涯バリで制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ17世紀絵画の影響を受ける一方、トロンブルイユ（だまし絵）を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。

公共交通機関からのアクセス

元町・中華街駅より

（東急東横線・みなとみらい線）

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から横浜市営バス8系統「本牧車庫」行「本牧元町」下車
所要約30分・徒歩1分

横浜駅より

（JR各線、東急東横線、京浜急行、横浜市営地下鉄、相鉄線）

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統「本牧車庫」行「本牧元町」下車
所要約40分・徒歩1分

桜木町駅より

（JR京浜東北線）

横浜市営バス西口11番乗場から105・106系統
東口2番乗り場から8系統
「本牧車庫」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

磯子・根岸方面より

横浜市営バス58・99・101系統「和田山口」で下車、道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統「本牧車庫」行「本牧元町」下車
「和田山口」から所要約10分・徒歩1分



※専用の駐車スペースはありません。（近隣のコインパーキングをご利用ください）
※車いす用の来庫スペースが1台分あります。ご利用は事前にご連絡ください。